

9-1 ジブリパークを活用した圏域全体のプロモーションの展開

＜3か年の取組方向＞

- 国内外からジブリパークを目的として、多くの旅行者が来県していることから、魅力あるイベントの開催に加え、その効果を広範囲に波及させるため、効果を測定・分析するとともに、各地域等と連携し、来園者のニーズに沿った観光プログラムの造成や来場者データを活用した「ジブリパークのある愛知」のPR・プロモーションを実施するなど、来園者のジブリパーク周辺地域、更には県内全域の周遊・宿泊へとつなげていく。
- 愛知万博の開催から2025年で20周年の節目を迎えることから、会場地であった愛・地球博記念公園において20周年記念事業を開催し、「自然の叡智」をテーマに掲げた愛知万博の理念と成果を次世代へつないでいくとともに、ジブリパークとの相乗効果を図りながら、愛知の多彩な魅力を発信していくことで、様々な人が集う、つながりの場を創出していく。

＜具体的な取組・施策と実施計画＞

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2024	2025	2026	
愛・地球博記念公園の魅力の向上	都市公園施設等の整備推進	○駐車場（北2）の整備 ○魅力あるイベントの開催			都市・交通局
スムーズでわかりやすい交通アクセスの確保	M a a S の社会実装の推進【再掲8-1(3)】	○新モビリティサービスの普及促進に向けたモデル事業の実施 ○愛知県 I T S 推進協議会に設置した「M a a S 推進会議」による取組の推進			都市・交通局
ジブリパークの効果の波及	周辺地域の活性化	○ジブリパーク構想地域連携協議会の活動の推進 ○ジブリパークへ旅行者を迎え入れる雰囲気づくりの推進			政策企画局
		○東部丘陵線連絡協議会の活動の推進 ○リニモ沿線地域づくり構想の推進 ○沿線住民・学生へのチラシの配布 ○沿線ウォーキング、体験ツアー等の沿線市と共同での実施 ○リニモ沿線観光情報リーフレットの作成、S N S 等を活用した情報発信			都市・交通局
	周遊観光の促進	○来場者データ活用システムの運用 ○インターネット広告・メールマガジンの配信 ○特設サイト「ジブリパークのある愛知への旅」における観光プログラムや周遊モデルコースの紹介 ○首都圏、関西圏のデジタルサイネージを活用した観光誘客			観光コンベンション局
愛知万博20周年記念事業の実施による愛知万博の理念継承・魅力発信		○イベント等開催準備や調整 ○広報P R 活動の実施 ○記念事業の実施	○記念事業の実施		政策企画局

<コラム⑫> 愛知万博 20 周年記念事業の実施による愛知万博の理念継承

2005 年に開催された愛知万博は、愛・地球博記念公園をメイン会場に「自然の叡智」をテーマとして開催され、人、いきもの、地球に対する「愛」を我々に示しました。この愛知万博の理念と成果を、愛知万博が行われたこの公園で継承していくことが愛知県の責務であると考えます。

愛知万博の開催から 2025 年で 20 周年の節目を迎えることから、愛知県では 2025 年 3 月 25 日から 9 月 25 日までの 185 日間、愛・地球博記念公園において、「つなぐ 未来（あした）へ」をメインテーマに、愛知万博 20 周年記念事業を実施します。

本事業では、国内外からの来園者に対し、愛知の多彩な魅力を発信することで、愛知を知り、好きになってもらうことを目的に、様々な人々が集う、つながりの場を創出します。



会場イメージ



ロゴマーク

【ロゴマークのコンセプト】

愛知万博で培った世界の国々との繋がりを、カラフルな配色で表現しています。あわせて、20 の中に「花」と「笑顔のモリソー&キッコロ」が加わることで、20 周年をお祝いするデザインとなっています。

9-2 世界に向け創造・発信する文化芸術の振興

(1) 愛知発の文化芸術の育成・発信

<3か年の取組方向>

- 愛知から新たな芸術を創造・発信していくため、2025年9月から開催する国際芸術祭「あいち2025」の準備を進めるとともに、愛知芸術文化センターにおける質の高い舞台芸術公演や美術展の開催、県陶磁美術館の改修、両施設への民間活力や地方独立行政法人制度の導入に向けた検討などにより、文化施設の利用者拡大や賑わい創出を推進していく。
- 文化新人賞の表彰や地元芸術大学等との連携事業の実施、展示・発表の場の提供などを通じて、若手芸術家を育成していくとともに、県立芸術大学における情報発信等により、芸大ブランドの確立に取り組んでいく。

<具体的な取組・施策と実施計画>

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2024	2025	2026	
愛知発の芸術文化の発信	国際芸術祭の継続開催	○「あいち2025」の開催に向けた準備 ○地域展開事業の実施	○「あいち2025」の開催	○2028年の開催に向けた準備	県民文化局
	愛知芸術文化センターの活用推進	○質の高い舞台芸術公演や美術展の開催 ○民間活力や地方独立行政法人制度の導入に向けた検討	○検討結果に基づく取組の推進		県民文化局
	県陶磁美術館の活用推進	入場者数：年間200万人			
		○館外展示や出張陶芸の実施 ○所蔵品データベースの公開 ○SNSによる発信 ○陶芸館の先行オープンに伴う案内表示の一部リニューアル ○地方独立行政法人制度の導入に向けた検討	○リニューアルオープンに伴う常設展・企画展の再開 ○案内表示リニューアル ○検討結果に基づく取組の推進		県民文化局
芸術家の育成	若手芸術家の育成支援	○愛知県芸術文化選奨の「文化新人賞」による表彰を通じた芸術家の育成支援			県民文化局
	若手アーティストへの活動の場の提供	○地元芸術大学等との連携事業の実施 ○現代陶芸魅力発信事業における若手作家の展覧会の開催			県民文化局
	魅力ある県立芸術大学づくり	○情報発信等による芸大ブランドの確立 ○地域貢献の推進			県民文化局
		来館者数：年間10万人			

【国際芸術祭「あいち 2025」の開催】

国際芸術祭は、3年に1度、愛知県で開催する国際的な現代アートの祭典です。2025年度に開催する「あいち 2025」は、フール・アル・カシミ（Hoor Al Qasimi）を芸術監督に迎え、9月から11月にかけて愛知芸術文化センターを始め、愛知県陶磁美術館や瀬戸市のまちなかななどで「A Time Between Ashes and Roses 灰と薔薇のあいまに」をテーマに開催します。

（２）伝統芸能や文化財の継承・発展

＜3か年の取組方向＞

- 伝統芸能を鑑賞・体験できるイベントの開催や、ポータルサイトによる伝統芸能等の情報発信などにより、伝統芸能の保存・伝承を図るとともに、あいち山車まつり日本一協議会による山車文化の魅力の発信を通じ、地域に根ざした伝統芸能の活用を推進し、地域の活性化や観光振興につなげていく。
- 文化財の継承・発展のため、国・県指定文化財の保存・修理や管理の支援、重要文化財に指定された愛知県庁本庁舎の保存活用計画に基づく、適切な保全や公開イベントの実施などの利活用を行っていくとともに、東海地方最大規模の弥生集落の遺跡である、あいち朝日遺跡ミュージアムにおける企画展の開催などにより、文化財の魅力を発信していく。

＜具体的な取組・施策と実施計画＞

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2024	2025	2026	
伝統芸能の継承・発展	伝統芸能の保存、継承	○伝統芸能を鑑賞し、体験できるイベント（体験教室等）の開催 ○「あいち伝統芸能ポータルサイト（仮称）」における伝統芸能等の紹介や体験施設の情報の発信・開設、運営			県民文化局
	あいち山車まつり日本一協議会による山車文化の魅力の発信	○総会・研修会、シンポジウムの開催 ○あいち山車文化普及啓発事業の実施 ○クラウドファンディング活用サポートの実施 ○支援アドバイザーによる相談の実施			県民文化局
文化財の継承・発展	文化財の保全	○指定文化財の保存修理や管理の支援（64件） ○愛知県デジタル文化財台帳の整備 ○文化財防災ネットワークの構築			県民文化局
		○本庁舎の銅板屋根の全面葺き替え等の実施			総務局
		○本庁舎公開イベントの実施			総務局
	文化財の魅力発信	○あいち朝日遺跡ミュージアムの運営、企画展の開催 ○断夫山古墳の発掘調査の成果を踏まえた保存活用計画の策定			県民文化局

9-3 アジア・アジアパラ競技大会始め国内外から注目されるスポーツ大会の開催

(1) アジア・アジアパラ競技大会の開催とレガシーの創出

<3か年の取組方向>

- 2026年のアジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催に向け、施設整備や大会運営、輸送等の計画策定など、着実に準備を進めるとともに、関係者と連携し、県内外のイベント等を活用したPRを行うなど、開催の気運を盛り上げていく。また、大会終了後のレガシーの創出に向け、具体的な施策の検討を進めていく。
- 能力の高い子どもたちを発掘し、トップアスリートに育成することをめざす、あいちトップアスリートアカデミーを各競技団体等と連携して実施するとともに、アジア競技大会・アジアパラ競技大会等での活躍が期待される本県ゆかりの選手の競技力を高めるための支援を行っていく。
- アジア競技大会・アジアパラ競技大会は、アジア地域から注目を集め、交流拡大や本県の魅力発見等のためのまたとない好機であるため、アジア地域を対象としたインバウンド観光の振興や、来訪者の利便性向上に向け、受入れ環境の整備に取り組むとともに、MOUに基づき、アジア諸国との経済交流を深めるなど、愛知全体のブランド向上に向けた戦略的な取組を進めていく。

<具体的な取組・施策と実施計画>

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2024	2025	2026	
アジア・アジアパラ競技大会の開催	アジア・アジアパラ競技大会の開催準備	○大会運営に関する諸計画の作成 ○競技会場仮設整備の基本設計 ○開催2年前イベントの実施 ○テスト大会の招致 ○市町村が所有する競技施設の改修事業費の補助 ○宿泊施設のバリアフリー整備にかかる費用の補助	○競技会場仮設整備の実施設計・工事 ○開催1年前イベントの実施 ○テスト大会実施	第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会の開催	アジア・アジアパラ競技大会推進局
トップアスリートの発掘、育成、強化		○あいちトップアスリートアカデミーの実施 ○愛知ゆかりのオリンピック・アジア競技大会等強化指定選手への支援 ○大学との協定による体育・スポーツの振興			スポーツ局
地域のスポーツ振興	愛知県スポーツ推進計画の推進	○「愛知県スポーツ推進計画 2023-2027」の推進			スポーツ局
	総合型地域スポーツクラブの創設・育成	○総合型地域スポーツクラブが実施する運営体制の構築、指導者の確保の支援			スポーツ局
アジア・アジアパラ競技大会の活用推進	アジア・アジアパラ競技大会の開催を活用したインバウンド観光の促進【再掲 9-5(1)】	○旅行会社・メディアの招請及び商談会の実施 ○観光施設の多言語解説の作成支援			観光コンベンション局
	覚書に基づくアジアとの経済交流の推進【再掲 7-3(1)】	○ベトナム計画投資省との連携 ○中国江蘇省との連携 ○タイ工業省との連携 ○インドネシア経済担当調整大臣府との連携 ○中国山東省工業・情報化庁との連携			経済産業局

取組・施策	実施計画（年度）			所管局等
	2024	2025	2026	
アジア・アジアパラ競技大会のレガシーの創出	○レガシーとなる施策の検討	○施策の展開・進捗管理		政策企画局 アジア・アジアパラ競技大会推進局
	○展示会におけるアジア企業の出展			経済産業局

【アジア競技大会/アジアパラ競技大会概要】



- 開催期間
 - ・第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）
2026年9月19日（土）～10月4日（日）
 - ・第5回アジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）
2026年10月18日（日）～10月24日（土）
- メイン会場
名古屋市瑞穂公園陸上競技場
- 参加国数
アジア45の国と地域

（2）IGアリーナ（愛知県新体育館）の整備と国際的なスポーツ大会の招致・育成

＜3か年の取組方向＞

- 2025年7月にオープン予定の世界水準のスペックと設備を兼ね備えたIGアリーナ（愛知県新体育館）について、BTコンセッション方式により整備・運営を行っていく。
- スポーツ大会に関する情報発信や、県内市町村等と連携したスポーツ大会・合宿の招致を行うとともに、マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知や、ISUグランプリファイナル国際フィギュアスケート競技大会2025、FIA世界ラリー選手権ラリージャパンの開催を支援するなど、あいちスポーツコミッションにより全国・世界に打ち出せるスポーツ大会の招致・育成を図っていく。

＜具体的な取組・施策と実施計画＞

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2024	2025	2026	
IGアリーナ（愛知県新体育館）の整備・運営		○IGアリーナの整備 2025年3月竣工	○IGアリーナの運営 2025年7月オープン		スポーツ局
スポーツ大会を通じた地域の活性化	あいちスポーツコミッションによるスポーツ大会の招致・育成	○WebサイトやSNSによるスポーツ大会に関する情報発信 Webサイトアクセス件数：300,000件/年			スポーツ局
		○スポーツ大会・合宿の招致			
		○スポーツ大会の開催気運の醸成、地域の魅力発信			
		○マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知の開催支援			
		○ISUグランプリファイナル国際フィギュアスケート競技大会2025の開催支援			
		○FIA世界ラリー選手権ラリージャパンの開催支援			
		○奥三河Trail Running Raceの開催支援			
		○RALLY 三河湾の開催支援			

9-4 愛知ならではの観光の推進

＜3か年の取組方向＞

- 愛知ならではの「ツウ」な魅力を感じレベルの体験コンテンツまで磨き上げ、ターゲットに合わせて販売するとともに、歴史・ものづくり・伝統文化・自然・食といった本県の資源を、ひとつのストーリーとしてPRしていくなど、「あいち『ツウ』リズム」の普及を図っていく。
- 全国の武将・忍者が集結する集客イベントを開催するとともに、デジタルスタンプラリーを開催するなど、国内外からの誘客を図っていく。また、歴史観光や自然観光のPR、食に関する観光の推進や、なごやめしやポップカルチャーの情報発信などに取り組んでいく。
- 観光客のニーズを的確に捉えることを目的とした観光動態調査を実施し、データに基づいた効果的・効率的な観光のPRを実施していくとともに、観光事業者や交通事業者と連携した旅行商品の造成・販売などにより愛知観光プラットフォームの推進を図っていく。

＜具体的な取組・施策と実施計画＞

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2024	2025	2026	
愛知ならではの 魅力の創出	あいち「ツウ」リズムの 推進	○観光プログラムの造成・販売方法を学ぶセミナーの開催 ○OTAを活用した広告支援 ○SNSを活用した広告支援			観光コンベンション局
	武将観光の推進	○サムライ・ニンジャフェスティバルの開催 ○徳川家康と服部半蔵忍者隊によるPRの実施 ○名古屋おもてなし武将隊等の県外イベントへの派遣			観光コンベンション局
	歴史観光の推進	○歴史観光ポータル構築、効果的な情報発信 ○Web・SNS広告や交通広告の実施 ○観光展や街道講演会の開催、歴史イベント等へのブース出展、「武将のふるさと愛知」体験教室の実施 ○「武将」「お城」「街道」のテーマを掛け合わせたデジタルスタンプラリーの開催			観光コンベンション局
	自然観光の推進	○あいちの自然観光フェアの開催			観光コンベンション局
		○東三河スポーツツーリズムの推進【再掲9-6(4)】			東三河総局
	産業観光の推進	○岐阜県と連携した周遊観光事業の実施			観光コンベンション局
		○あいち航空ミュージアムにおける航空機産業の情報発信			都市・交通局
		○「あいちの農林水産フェア」の開催 ○「食と花の街道」の認定、イベント情報等の発信			農業水産局
	食に関する観光の推進	○「愛知『発酵食文化』振興協会」の設立、発酵食文化の振興・国内外への魅力発信			観光コンベンション局

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2024	2025	2026	
愛知ならではの 魅力の創出	なごやめしの普及促進	○イベントへの出展 ○多言語パンフレットの作成 ○ホームページ・SNSの運営			観光コンベンション局
	ポップカルチャーの情報発信	○世界コスプレサミットの開催支援			観光コンベンション局
	ジブリパークを起点とした周遊観光の促進 【再掲 9-1】	○来場者データ活用システムの運用 ○インターネット広告・メールマガジンの配信 ○特設サイト「ジブリパークのある愛知への旅」における観光プログラムや周遊モデルコースの紹介 ○首都圏、関西圏のデジタルサイネージを活用した観光誘客			観光コンベンション局
愛知ならではの魅力の発信		○広報動画・広報誌による魅力発信			政策企画局
受入れ環境の 整備・充実	多様化する旅行・宿泊ニーズへの対応	○訪日外国人旅行者のニーズに応える体験型観光コンテンツの造成支援			観光コンベンション局
	平日や閑散期への観光需要のシフト【再掲 5-3(3)】	○混雑を回避した旅行を促す「あいちスキ旅キャンペーン」の実施			観光コンベンション局
観光PRの推進	デジタルマーケティングによる効果的なPR	○観光動態調査の実施 ○位置情報など観光統計によるEBPMの導入支援 ○観光消費額や観光資源に係る評価情報等の活用支援 ○デジタルスタンプラリーの実施・調査分析			観光コンベンション局
	愛知観光プラットフォームの推進	○観光プログラム販売事業者、運輸機関、旅行会社等と連携したプログラムの造成・販売促進 ○本県の魅力を発信する観光展の開催 ○「食」の体験型観光プログラム造成の促進			観光コンベンション局
	フィルムコミッションの活動支援	○ジャパンフィルムコミッション（JFC）主催のロケ地フェアへの出展 ○ウェブサイト、SNS等によるロケ地等の情報発信			観光コンベンション局

＜コラム③＞ あいち『ツウ』リズムの推進

「あいち『ツウ』リズム」とは、本県の観光振興のコンセプトであり、愛知ならではの地域資源を、誰でも、何度でも楽しめる奥深い「ツウ」な魅力として磨き上げ、観光コンテンツとしての付加価値を高めることをめざすものです。「あいち観光戦略 2024-2026」においても、基本方針のひとつとして「高付加価値化の推進」を掲げています。ロゴマークは、歴史や産業、自然、文化、食など、本県の多彩な資源・魅力を表現しています。



9-5 観光交流拠点としての機能強化、人材育成

(1) 訪日外国人旅行者の受入れ促進・受入れ環境の整備、広域観光の推進

<3か年の取組方向>

- 将来的なオーバーツーリズム対策を視野に入れつつ、回復傾向にある訪日外国人旅行者の受入れ促進のため、観光PR用のキャッチワード・ロゴマーク「“Heart” of JAPAN~Technology & Tradition」を掲げ、ウェブ・SNSによる情報発信や、クルーズ船誘致促進などを行っていくとともに、アジア・アジアパラ競技大会の開催を活用したインバウンド観光を促進するため、観光関連事業者との商談会等の実施や、観光施設の多言語解説の作成支援などを行っていく。
- 高付加価値旅行者等と呼び込むため、地元の自治体等と密に連携し、地域住民が主体的に地域の魅力づくりに携わり、旅行者を受け入れるような気運の醸成を図りつつ、EBPM（エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング。根拠に基づく政策立案）などを活用したニーズの的確な把握や、歴史や産業、自然、文化等に根差した愛知ならではの豊かな地域資源の更なる深掘り・磨き上げ、魅力的な体験型コンテンツの造成支援、高級ホテルの誘致などを進めていく。

<具体的な取組・施策と実施計画>

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2024	2025	2026	
訪日外国人旅行者の受入れ促進	ハートオブジャパン誘客の促進	○クルーズ船誘致促進 ○県公式観光ウェブサイト（Aichi Now）、SNSによる情報発信 ○外国人旅行者向け特設サイト（8言語）の更新、閲覧者の属性データ等の収集・分析 ○フランス向けプロモーションの実施			観光コンベンション局
	観光レップの活用推進	○観光レップによる誘客活動の実施			観光コンベンション局
	アジア観光客誘致の促進	○アジアFIT向け観光プロモーションの実施 ○ムスリム受入環境整備の啓発 ○日台観光サミットレガシーを活用した観光誘致 ○多言語パンフレットの作成			観光コンベンション局
	アジア・アジアパラ競技大会の開催を活用したインバウンド観光の促進	○旅行会社・メディアの招請及び商談会の実施 ○観光施設の多言語解説の作成支援			観光コンベンション局
	高付加価値旅行者等の誘致	○訪日外国人旅行者のニーズに応える体験型観光コンテンツの造成支援			観光コンベンション局
訪日外国人受入れ環境の整備	高級ホテルの立地促進【再掲 8-1(6)】	○愛知県高級ホテル立地促進事業費補助金の交付による立地の促進			観光コンベンション局
	多言語化の促進	○多言語コールセンターの運営（9か国語対応）			観光コンベンション局

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2024	2025	2026	
広域観光の推進	（一社）中央日本総合観光機構等と連携した取組の推進	○GPS情報を活用したデータマーケティング分析の実施 ○海外旅行博の出展			観光コンベンション局
	東海地区外国人観光客誘致促進協議会と連携した取組の推進	○東海エリアの観光コンテンツを活用したプロモーション			観光コンベンション局

（２）人材育成、観光イノベーションの創出

- 観光まちづくりアワードの表彰やシンポジウムの開催により、大学や専門学校、高校及びその学生・生徒を巻き込んで観光を盛り上げ、次代の観光振興を担うキーパーソンを育成するとともに、これらの人材の交流により新たなイノベーションを創り出していく。
- 「あいち『ツウ』リズム」の推進などにより、観光コンテンツの高付加価値化を推進していくとともに、あいちの魅力発見ガイドツアーなどにより県民による県内観光の促進を図り、持続可能な観光の定着を促進していく。

＜具体的な取組・施策と実施計画＞

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2024	2025	2026	
人材育成、観光イノベーションの創出	人材育成、観光イノベーションの創出	○あいち観光まちづくりアワードの実施 ○あいち観光まちづくりゼミの実施 ○あいち観光まちづくりシンポジウムの開催			観光コンベンション局
	観光コンテンツの高付加価値化の推進【再掲 9-4】	○観光プログラムの造成・販売方法を学ぶセミナーの開催 ○OTAを活用した広告支援 ○SNSを活用した広告支援			観光コンベンション局
持続可能な観光の定着促進	県民による県内観光の促進	○あいちの魅力発見ガイドツアーの実施			観光コンベンション局

＜コラム⑭＞ 次代を担う観光人材の育成・観光まちづくりを通じた持続可能な観光の促進

コロナ禍を経て社会情勢が大きく変化する中、観光地・観光産業の高付加価値を進め、持続可能な観光地域づくりを実現することが必要不可欠であり、それを牽引していく人材が必要です。愛知県では、次代を担う観光人材の育成及び観光まちづくりを通じた持続可能な観光の促進を図るため、2022年度から「観光まちづくりアカデミー」を実施し、関連する取組を行っています。

取組のうち、「観光まちづくりシンポジウム」では、「観光まちづくりアワード」の最終選考に選ばれた企画や「観光まちづくりゼミ」における優秀企画について表彰するほか、専門家による持続可能な観光に関する講演や、参加者同士の交流会も行うなど、持続可能な観光について考えるとともに、愛知の魅力を再発見できる内容となっております。



シンポジウムの様子

9-6 居住地として選ばれる魅力の創造・発信

(1) 「愛知の住みやすさ」の向上と効果的な発信

<3か年の取組方向>

- 愛知が持っている「住みやすさ」を更に向上させるため、市街地再開発などのまちづくりへの支援を通じて商業施設の立地促進を図るとともに、スポーツやライブイベントの開催の促進などにより、更なる魅力を創出していく。
- 移住プロモーション活動やウェブサイト等を通じた愛知の住みやすさの発信に加え、東京と名古屋に設置する、あいちU・I・Jターン支援センターにおいてU・I・Jターン希望者の掘り起こしや個別相談に応じるとともに、移住支援金の支給などにより、本県への就職・転入を促進していく。
- あいちテレワークサポートセンター等による導入支援などにより、テレワークの普及を促進していくとともに、就農相談、就農サポートの実施などにより、農村地域への人口流入・定着を促進していく。
- 「杉原千畝広場 センボ・スギハラ・メモリアル」やあいち・なごやノーベル賞受賞者記念室の活用、県政 150 周年を契機に定められた「あい知県民の日」の周知・啓発を通じて、県民の郷土への愛着や誇り（シビックプライド）を醸成していく。

<具体的な取組・施策と実施計画>

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2024	2025	2026	
魅力の創出	魅力ある観光・商業施設等の立地促進	○公共的観光施設の設置・改修の支援			観光コンベンション局
		○まちづくりの支援【再掲 8-3(1)】			建築局
	歴史まちづくりの推進	○歴史的建造物等保存・再生・活用推進プロジェクトチームによるまちづくりの推進			都市・交通局
	スポーツ・ライブイベントの開催の促進	○Aichi Sky Expo を最大限に活用した誘致活動の支援【再掲 7-1(1)】 ○「Aichi Sky Expo 活性化推進機構」を通じた新たな展示会需要の創造【再掲 7-1(1)】			観光コンベンション局
		○あいちスポーツコミッションによるスポーツ大会の招致・育成【再掲 9-3(2)】			スポーツ局
人口流入・定着の促進	愛知の住みやすさの発信	○パンフレット及びウェブサイトによる情報発信 ○若年層に向けた広告配信 ○東京圏での魅力発信 ○若年層向け民間情報サイトへの広告記事掲載 ○地域の特長等を踏まえた移住プロモーション活動の実施			総務局
	U・I・Jターンの促進	○あいちU・I・Jターン支援センターでの希望者の掘り起こしや個別相談による就労支援の実施 ○企業向けセミナー、PR・広報の実施			労働局

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2024	2025	2026	
人口流入・定着の促進	首都圏からの人材確保の促進	○東京圏での魅力発信 ○マッチングサイトの運営 ○移住支援金の支給 ○地方就職支援金の支給			労働局
	テレワークの普及促進【再掲 5-1(1)】	○あいちテレワークサポートセンターにおけるテレワークに関する相談、機器操作体験、情報提供等の実施 ○中小企業等へのアドバイザー派遣（120回） ○ポータルサイトの制作・運営 ○テレワーク関連セミナーの実施（8回）	中小企業のテレワーク導入率：30%（2025年度）		労働局
	農村地域への人口流入・定着の促進	○就農相談、就農サポートの実施			農業水産局
シビックプライドの醸成	「あいち県民の日」及び「あいちウィーク」の啓発	○県政 150 周年記念事業（STATION Ai の開業、愛知県新体育館の整備、愛知県基幹的広域防災拠点の整備）の実施			政策企画局
		○「あいち県民の日」の周知・啓発の実施 ○「あいちウィーク」における啓発イベント等の実施			県民文化局
	愛知県ゆかりの偉人の業績・功績の周知	○「杉原千畝広場 センポ・スギハラ・メモリアル」による周知			教育委員会
		○あいち・なごやノーベル賞受賞者記念室の運営・活用 ○あいち創業館の整備【再掲 6-1(1)】	○運営・活用		経済産業局

<コラム③> 「あいち県民の日」・「あいちウィーク」について

明治 5（1872）年 11 月 27 日に、当時の愛知県（改称前は、名古屋県）と額田県が合併し、「現在の愛知県」が誕生しました。令和 4（2022）年に県政 150 周年を迎えたことを契機として、11 月 27 日を「あいち県民の日」とする条例を定めました。

県民一人一人が、愛知の歩みを振り返りつつ、愛知の魅力を再発見するとともに、次なる時代に向け新たな創造の基盤を積み重ねることで、県民がともに支え合い、希望と誇りを持つことができる愛知の実現をめざし創設された「あいち県民の日」を含む直前 1 週間（11 月 21 日から 27 日まで）を「あいちウィーク」と定め、期間中、県の施設等の利用料が割引又は無料となったり、愛知県の魅力を発信するイベント等が県内各地で行われます。なお、この「あいちウィーク」は、「愛知県休み方改革プロジェクト」の一環として取り組むこととしています。また、県内の学校では、「あいちウィーク」期間中の 1 日を「県民の日学校ホリデー」に指定し、休業日とすることになりました。



【ロゴマークのコンセプト】

ハート型をベースに愛知県の形を反映させ、その中に愛知県のシンボルである「カキツバタ」「ハナノキ」「コノハズク」「クルマエビ」を配置。楽しく賑やかで魅力的な「あいち」を表現しています。

重要政策の方向性⑨

選ばれる魅力的な地域づくり

(2) 県営公園等の魅力向上と利活用促進

<3か年の取組方向>

- 県営公園等の魅力向上と利活用を促進するため、県営都市公園における民間活力の導入に向けた調査などを進めていく。また、森林公園において、全国植樹祭5周年イベントを開催するとともに、第70回全国植樹祭の理念を活かした利活用事業を実施する。さらに、緑化センター・昭和の森においても、魅力ある施設に向け、民間を活用した取組を実施していく。

<具体的な取組・施策と実施計画>

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2024	2025	2026	
県営公園等の魅力向上と利活用促進	都市公園における民間活力の導入	○あいち健康の森公園における民間活力の導入の推進 ・事業者の選定、自然環境調査等			都市・交通局
	森林公園における利活用の促進	○全国植樹祭5周年イベントの開催	○第70回全国植樹祭の理念を活かした利活用事業の実施		農林基盤局
	緑化センター・昭和の森における利活用の促進	○民間を活用した取組の実施			農林基盤局

(3) 県内大学の活性化と魅力発信

<3か年の取組方向>

- 県内大学の魅力を向上させるため、県内産業の維持・発展に不可欠なICT人材の育成・確保を図る取組や課題解決型学習（PBL）など、企業と連携した実践的な学びの実施を促進していく。
- 世界トップレベルの大学と県内大学との学生交流や学術・技術交流等を促進していくとともに、大学ポータルサイトなどを通じて県内大学の魅力を発信していく。

<具体的な取組・施策と実施計画>

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2024	2025	2026	
県内大学の魅力向上	地元産業界との連携推進【再掲 6-4(1)】	○企業と連携した実践的な学びの実施促進			政策企画局
	行政との連携推進	○大学との連携事業推進			政策企画局
	海外大学との交流の促進【再掲 7-5(2)】	○海外大学との覚書を活用した学生交流、学術・芸術交流の促進			政策企画局
	魅力の発信	○大学ポータルサイトによる情報発信 ○県内大学生と連携した愛知の大学の広報動画の制作・発信	○県内大学広報動画の発信		政策企画局

(4) 山間地域、離島等における関係人口の創出・拡大、移住・定住の促進

<3か年の取組方向>

- 愛知県・市町村人口問題対策検討会議において、県及び人口問題対策が特に必要な地区のある市町村が、人口問題の現状や課題を共有するとともに、連携・協力して、当該地区の実情に応じた人口問題対策を推進していく。
- 首都圏在住者の地方暮らしへの関心の高まりを踏まえ、東京圏における東三河ファンづくりや、ビジネスを通じた関係人口創出イベントを実施するとともに、ボランティアを通じた関係人口の創出などにより、移住・定住の促進、関係人口の創出・拡大を行っていく。
- 離島の暮らしや伝統行事などの魅力について、SNSを活用した情報発信を行うとともに、離島におけるワーケーションやスタディケーションの推進などにより、関係人口の創出に向けた取組を推進していく。

<具体的な取組・施策と実施計画>

取組・施策		実施計画（年度）			所管局等
		2024	2025	2026	
人口問題対策が特に必要な地区のある市町村における人口問題対策の推進		○愛知県・市町村人口問題対策検討会議の開催			政策企画局 総務局
山間地域の振興	東三河地域の魅力発信	○若年層に向けた東三河地域誘客促進 ○東三河スポーツツーリズムの推進 ○スポーツ大会を活用した地域活性化の促進 東三河地域における ・観光入込客数：570万3,800人増加 ・宿泊者数：75万500人増加 ・道の駅売上額：6億6,044万円増加 ・東三河スポーツツーリズムウェブページ「Outdoor Route」アクセス件数：5,930件増加（2023～2025年度累計）			東三河総局
	移住・定住の促進	○ふるさと回帰支援センターにおける移住相談の実施 ○愛知県交流居住センターを中心とした都市部住民とのマッチング支援、情報発信、仕事（なりわい）づくりへの支援 ○新規起業家等へのなりわい支援の実施	相談者数：500人（2025年度） 就業支援者数：50人（2025年度）		総務局
	移住・定住の促進、関係人口の創出・拡大	○東三河・大都市の関心事項等の明確化、マッチング ○東京圏における東三河ファンづくり、ビジネスを通じた関係人口創出イベント等の実施 ○地域資源の保存・活用等の活動支援 ○小学生向け啓発教材の作成・配布			東三河総局
離島の振興	関係人口の創出・移住定住の促進	○SNSを活用した離島の情報発信 ○離島におけるワーケーション・スタディケーションの推進			総務局